

「七夕のお話」

全校のみなさん、おはようございます。

今日 7 月 7 日は七夕です。漢字は数字の「七」、夕方の「夕」を使います。七夕は、重要な行事として平安時代から貴族の間で行われていました。江戸時代からは庶民にも伝わり、お供えをしたり、短冊に願い事を書いて祈ったりして、全国では大きなお祭りが行われるようになりました。7 月 7 日の七夕の夜、おりひめとひこぼしは待ちに待った「再会」という願いをかなえます。人々は「二人のように、願い事がかないますように」と、短冊に色々な願い事を書いて、笹や竹の葉に飾るようになりました。笹や竹は、冬でも緑を保ち、まっすぐ育つ生命力にあふれ、昔から不思議な力があると言われてきました。そこで、願いがかなうようにと笹や竹に付けるようになったのです。みなさんの願いごとは何でしょうか。ぜひたなばたの今日、願い事をしてみてください。

それではこれでお話を終わります。学校に来るのも今日を入れて 10 回です。今週もみんなで仲良く、楽しく過ごしていきましょう！